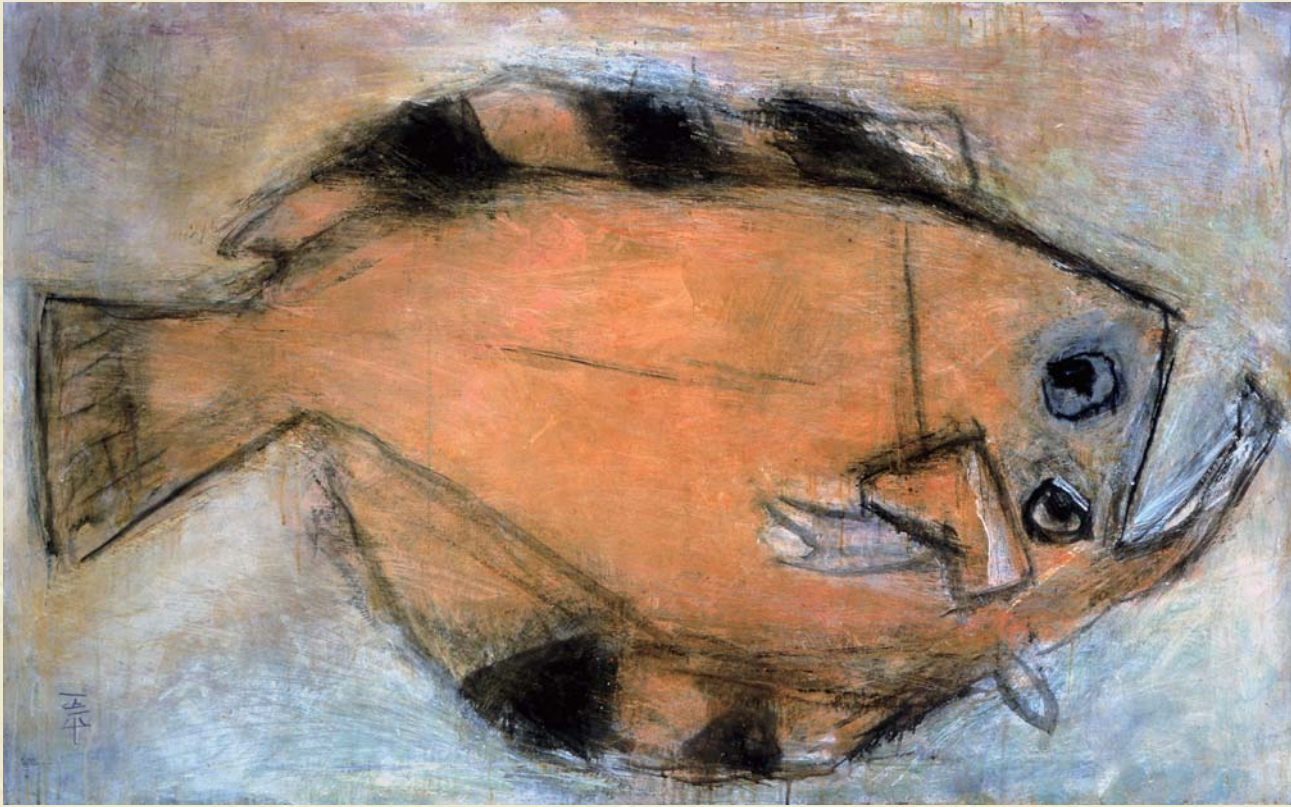


# 洋画家、松田正平人と芸術

この授業は、放送大学の授業を学外にも公開して行うものです。



山口県立美術館所蔵「オヒョウ（大きな魚）」（1984年）

地元山口を題材の周防灘シリーズを代表作とする洋画家松田正平は、平成16年に91歳で晩年を暮らした山口県宇部市で亡くなりました。没後も生前に増して多くの人びとを魅了しています。何が彼らを惹きつけるのかを学び、感じたいと、安井前山口県立美術館副館長に面接授業をお願いしました。講義では、美術評論家の洲之内徹が書いた「(油彩画の)美しいマチエール(絵はだ)」への追求や随筆家白洲正子が感得した松田的「具象絵画」へのこだわりといった言葉をキーワードにして、氏のライフワーク、地元山口の周防灘シリーズを含めた画業を初期から晩年まで検証することで松田洋画の美術史的あるいは今日的な意義を考えます。

日時 2011年 **1/8** (土)・**9** (日) 両日共 10:00 ~ 17:00

会場 山口県立美術館講座室 (山口市亀山3-1)

講師 安井雄一郎 (前山口県立美術館・副館長)

定員 60名 (放送大学生: 45名 一般共修生: 15名)

申込 放送大学生は科目登録により申請して下さい。  
一般の方は共修生として受け付けますので、  
山口学習センターにお問い合わせ下さい。

受講料 5,500円

後援 山口県立美術館・山口県教育委員会

#### 【授業テーマ】

1. はじめに ~出生から東京美術学校時代まで~
2. バリ留学 ~西洋油彩画との出会い~
3. 帰国、戦中期 ~スランプ~
4. 戦後、光時代(1) ~迷いと試行錯誤~
5. 戦後、光時代(2) ~周防灘との出会い~
6. 東京と鶴舞時代 ~松田洋画の2つの様式~
7. 鶴舞から山口へ ~松田洋画の確立~
8. おわりに ~松田洋画の魅力と今日的意義~

お問い合わせ先 **放送大学山口学習センター**



〒756-0884 山陽小野田市大学通一丁目1-1

Tel: 0836-88-3020 Fax: 0836-88-3061 E-mail: yamasc35@ouj.ac.jp

ホームページ: <http://www.ouj.ac.jp/~yamaguchi/>

※山口学習センターは平成23年3月末に山口大学吉田キャンパス内(山口市)に移転します。